

証券市場新聞

1 第162号

日経平均株価
2万0359円70銭
▲195円90銭(前日比)
TOPIX
1529.73
▲7.72(前日比)

2019
1/14
月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社
〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6C
TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861
marketpress.jp



増税対策が与党勝利の条件

12年に1度の地方・参院ダブル選



与党勝利が株価上昇の条件!?
大阪府議会と市議会議員選挙がとくに、自

元が検討さ

2012年末に始まった第2次安倍政権が7年目に突入、今年11月まで現政権が維持されれば、戦前の桂太郎を超え、憲政史上最長となる。しかし、内閣支持率については12月の各報道機関による調

査では40%台前半で減少傾向となっており、今年の選挙勝利がアベノミクス相場継続の絶対条件となる。政権にとって参院選勝利へ向けて4月の統一地方選を優位に進めることが

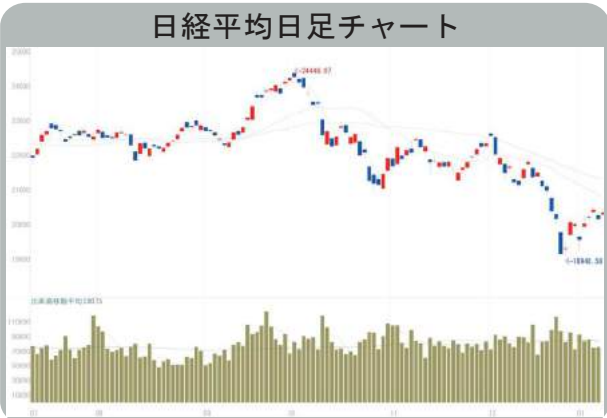
大阪府と市の与党である大阪維新の会の勝利が2025年の大阪万博開催やその先のIRリゾート誘致計画へ向けて大きな鍵となる。そして7月の参院選で与党の勝利となれば、マーケットにはポジティブな材料になる。10%への増税については、キャッシュレス決済普及へ向けてカード決済時のポイント還元

選挙関連銘柄に照準

民党の議席確保はもとより、

製品でグローリー(6457)、政治・選挙プラットフォーム「政治山」運営のパイプドHD(3919)、選挙業務管理システムでムサシ(7521)が注目

2019年における最大の関心事のひとつは安倍政権の信任だ。今年は4月に統一地方選、7月に参院選が実施される予定で、12年に一度の統一地方選と参院選とのダブル選挙となる。新天皇即位で祝賀ムードとなる一方で、日経平均2万円割れによるアベノミクス相場の動向、10月からの10%への消費増税による景気低迷懸念を含めて逆風要因も多い。そのような状況下で選挙へ向けた動きとそれに関連銘柄が継続的にクロウズアップされることになりそう

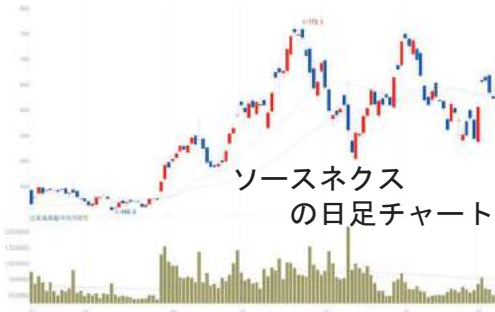


年始からの動意銘柄

ソースネクスト急反発

ポケットークに新エンジン採用

大発会4日、ソースネクスト(4344)が急反発。AI通訳機「ポケットーク」が新エンジンの採用により自然な日本語の発話を実現し、本語の発話が実現したと発表しており、更なる販売増へ期待が高まった。音声合成の品質向上を目的に東芝デジタルソリユーシジョン製の音声合成エンジンを採用。テキストから自



ソースネクストの日足チャート

然な声に自動変換するもので、これまでの機械的な音声から、人の音声に忠実かつ自然な日本語の発話を実現している。

電子部品軒並み安

4日、太陽誘電(6976)や新光電気工業(696)

7)、村田製作所(6981)など電子部品関連が軒並み下げた。米アップルが大幅な下方修正を発表、欧米市場でハイテク株が軒並み売られたことでリスク回避の売りが出た。

ロジザド大幅上振れ観測

4日、ロジザド(4391)がストップ高で上場来高値を更新した。eコマース市場が急速に拡

大するなか、倉庫や店舗在庫管理システムへの引き合いが急増しており、19年6月期第1四半期は営業利益8600万円と第2四半期累計の6200万円を超過して着地、通期計画の1億6600万円(前期比13・2%増)に対する1Qの進捗率は51・8%に達し、大幅な利益上振れが観測された。

再生医療商用化報道

新聞で「再生医療が商用化の段階に入る。

週明け7日、ジャパン・テック・エレクトロニクス(7774)やグンゼ(3002)、オリンパス(7733)、中外製薬(4519)など再生医療関連が値を飛ばした。日本経済

トーカロ上振れ期待

7日、トーカロ(433)が急伸。昨

高年齢化などに伴う膝関節の病気に企業が相次いで再生医療を応用する」と報じたことが材料視された。グンゼは軟骨の再生を促す素材を欧州で発売、オリンパスや中外製薬は培養した軟骨を使う方法の実用化を急ぐなどと紹介している。

年8月高値から12月安値まで47%超調整したことで、割安感が急速に高まった。溶射技術を中心とする表面改質の世界的リーダーングカンパニー。耐磨耗、耐熱、腐食防止など部品の耐久性、品質向上に同社の技術は不可欠で、鉄鋼などから航空・宇宙まで幅広い分野で重要視される。19年3月期は第2四半期累計

正直いいさんの株で大判小判

11日の東京市場は反発しました。米中貿易摩擦懸念が和らぎNY市場が5連騰、上海などアジア株が上昇したことも安心感を誘い、1Q減益も12月既存店が好調だったファーストリテの上昇が支援しました。ファーストリテ1銘柄で100円程度日経平均を押し上げ、それを除けば小高い程度で上値の重い展開です。昨年末から連休中が荒れた経験側から、今回も3連休前に手仕舞う動きがあるように、それを考慮すれば底堅いとも判断できます。一方、通期予想を減額した安川電機の輸出企業には業績に不安があること、好業績の中小型株を選別物色する流れが続きそう、ソースネクスト(4344)などピックアップ銘柄への押し目買いのタイミングを計る考えです。花咲翁

好業績中小型物色を継続

の連結営業利益で46億7300万円(前年同期比33・4%増)と大幅増益を計上、通期予想の87億円(前期比22・4%増)は上ブレ期待が強い。



シルバライフ需給懸念

8日、シルバライフ(9262)が

のストッパー安。清水貴久社長による55万株の売り出しとオーバーアロットメントによる上限8万2500株の売り出しを、実施すると発表したことで、需給圧迫が懸念された。売り出し株は最大で発行株数の12%におよぶ。

レノバがストップ高

19年3月期予想を上方修正



レノバの日足チャート

10日、レノバ(9519)がストップ高。19年3月期の連結業績予想について、売上高を130億円から136億円(前期比15.8%増)へ、営業利益を37億円から43億円(同16.9%増)へ、純利益を9億円から13億5000万円(同68.8%増)へ上方修正した。島津田バイオマス発

年始からの動意銘柄

12月の国内ユニクが、同時に発表した減益だった。2月の国内ユニクが、同時に発表した減益だった。

ファストリ既存店5%増

週末11日、ファストリテイリング(9983)が急反発。19年8月期の第1四半期の連結決算を発表。売上収益は6444億6600万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は146億6515万円(同8.1%減)と減益だった。

エスコロー・エージェンツ・ジャパン(6093)がストップ安で昨年来安値

エスコR安で新安値

電からの事業開発報酬を見込んでいる。

11日、日立製作所(6501)が急伸。「英国で計画する原子力発電所の建設事業を中断する方針を固めた」との報道がポジティブ視された。2000億を19年3月期中に計上する。会社側は「決定した事実はない」と発表した。

日立英原発中断報道

既存店が前年同月比5.2%増となったことから回復期待が高まっている。

を更新。19年2月期第3四半期累計の連結営業利益が2億9700万円(前年同期比51.5%減)と大幅減益となり、今2月末から1単元(100株)以上保有する株主にQUOカードを贈呈していた株主優待制度を廃止したことを嫌気された売りがかさんだ

2月2日(土) 創刊3周年記念株式セミナー in大阪

主催：証券市場新聞 申込はTEL06-6105-1904またはinfo@marketpress.jp まで!

2019年2月2日(土) 14:00~17:00 受付・開場13:00 参加料:無料 定員:30名

大化け特選3銘柄を教えます!

数々の株式コンテストで優勝した岡山憲史さんが登壇



岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表)1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」約1万人の参加者の中から優勝のほか、多くのコンテストで優勝。1カ月間の3銘柄合計パフォーマンス155%と断トツ。週刊現代や週刊ポスト、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行い、個人投資家に投資情報サービスを提供。

コラム「転ばぬ先のテクニカル」でお馴染み日々勇太郎さんも登壇

田島直人氏 国際テクニカルアナリスト連盟認定テクニカルアナリストで、現在高木証券証券アドバイザー、今年3月に独立系ファイナンシャルアドバイザーとしてIFA(金融商品仲介業者)を立ち上げの予定。

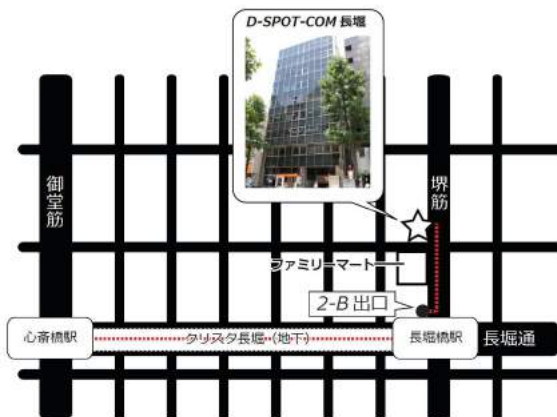
第1部 14:00~14:50 「転ばぬ先のテクニカル」日々勇太郎こと田島直人さんによるテクニカル解説

第2部 15:00~16:30 「乱高下の中で誰にでもできる投資テクニック」岡山 憲史さんによる株式講演会

会場：D-SPOT-COM長堀セミナールーム

大阪市中央区南船場2丁目3-6第一住建長堀橋駅前ビル1階
【TEL】06-6105-1904

堺筋線・長堀鶴見緑地線長堀橋駅 2-B出口 徒歩1分
御堂筋線心斎橋駅 クリスタ長堀経由 徒歩5分



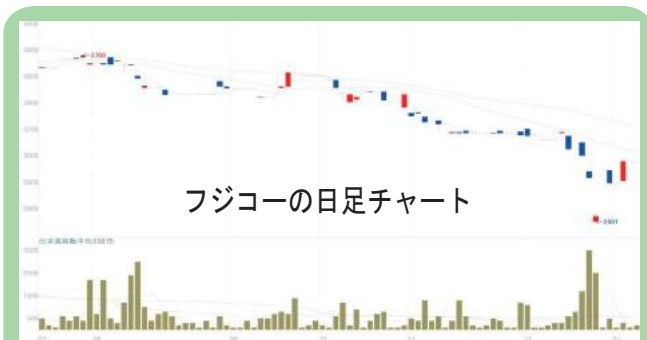
*セミナー参加者全員にマーケットバンク発行のカレント経済ノート「主要経済指標」2019年版(定価1,000円)をプレゼント!

耐熱フィルターなど伸びる

銘柄探究



記者の目で企業実態を解析



フジコーの日足チャート

フジコー (3515)

ベトナム量産でアジア展開加速

フジコー(3515)は全般地合い悪から昨年末に2500円台まで下押した後に戻す動き。不織布・フェルト総合メーカーとして各種産業資材から消費財まで多岐に亘る分野で製品を供給、好財務内容からも時価は見直し余地が大きい。

比5・5%減)、営業損益は4800万円の赤字(前年同期1億2100万円の赤字)、最終損益は100万円の赤字(前年

今19年3月期は11月13日に発表された第2四半期累計(4~9月)決算で、売上高は41億4400万円(前年同期

全力使って付加価値創出

同期1億1700万円の黒字)となつている。東日本大震災の廃棄物処理場向けの土木資材や建築資材、自動車資材の販売が減少した影響がでているが、環境資材では、耐熱フィルター、触媒ロフを中心に販売は好調に推移。エネルギー資材については販売は低調ながら、売上総利益率は改善している。通期については売上高92億

利益1億8000万円(同36・9%減)と従来見通しを据え置いている。如何なる環境変化にも対応して、持続的発展を遂げられるよう、全力を使つて付加価値を創出するを基本方針に、「グローバル展開」、「付加価値の創出」、「生産拠点の整備」、「強固な事業基盤の構築」を重点施策として持続的発展を目指している。今年5月には、韓国での営業活動、市場開拓と購買活動を本格的に行うため、ソウル連絡事務所を現地法人化してFUJICO KOREA CO.; LTD. を設立し、6月から販売活動を開始。

円(前期比1・1%増)、営業利益1億5000万円(同55・9%減)、純

決算期	売上高	営業利益	純利益
16/3	9,709	▲28	▲219
17/3	8,926	176	179
18/3	9,097	340	285
19/3(予)	9,200	150	180



都市ゴミ焼却炉耐熱フィルター

今年初から量産化を開始し、アジアでの販路開拓も進める。大型電力貯蔵システムに使用されるNAS電池の電極用フェルトやソーラーパネルの製造工程向け特殊耐熱フェルトなどエネルギー分野での需要商品を数多く有している。とくにNAS電池の電極用フェルトは高度で精緻な不織布加工特殊技術を駆使、NAS電池の心臓部に利用されており、重要度は極めて高い。

また、今年3月に設立したSANWA FELT VIENTIANA MCO.LTD.については今年初から量産化を開始し、アジアでの販路開拓も進める。大型電力貯蔵システムに使用されるNAS電池の電極用フェルトやソーラーパネルの製造工程向け特殊耐熱フェルトなどエネルギー分野での需要商品を数多く有している。とくにNAS電池の電極用フェルトは高度で精緻な不織布加工特殊技術を駆使、NAS電池の心臓部に利用されており、重要度は極めて高い。

チャート から読む 騰落銘柄

JR九州 (9142)



派手さはないが昨年12月25日の3495円を底に上昇、25日線をサポートラインに底堅い動き続く。12月20日に付けた昨年来高値3815円を抜ければ2017年6月6日高値3910円奪回に期待。

ネクステージ (3186)



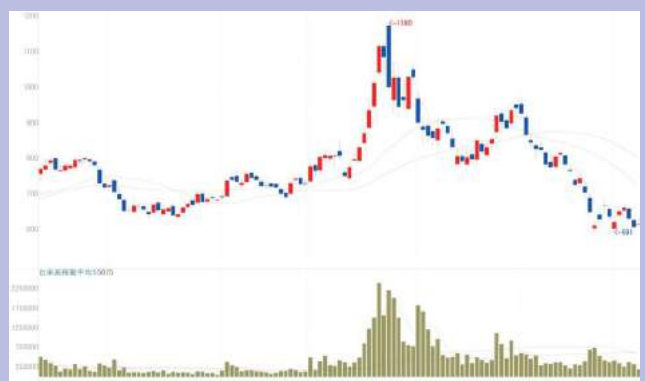
好業績見通し発表を手掛かりに急速に切り返し、一気に25日線を突破。日足ゴールデンクロスが近く、大勢上昇トレンド確認後、信用倍率0.77倍の好取組みをテコに実質最高値1356円奪回へ。

Hamee (3134)



昨年12月7日の高値1929円から半値以下にまで急落も下げ止まる気配なし。2017年1月27日の860円を下回れば2016年11月11日の706円が意識される。業績への不安が継続。

インテリW (4847)



12月3日に戻り高値968円を付け再び下値を模索。5日線に上値を押しえられるかたちで下落が続き、一気に12カ月や24カ月移動平均の長期線も割り込む。週足、月足も陰転の方向で、一段安を警戒。

※チャートは日足

潮流

新たな強気相場元年

谷深い分買い直し膨らむ可能性

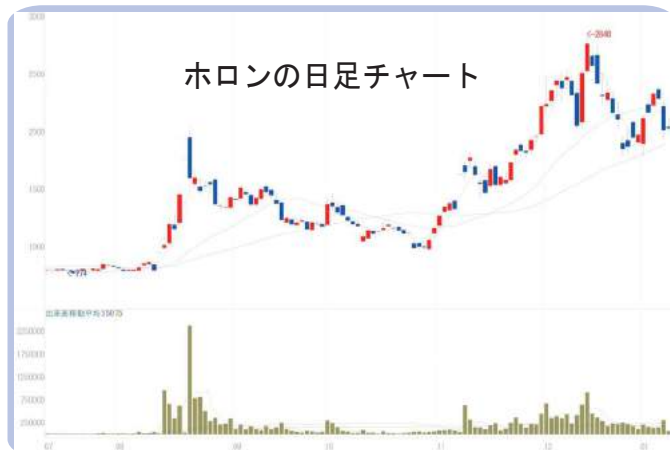
marKet / bAnk



株価変動が世界的に激しい。日経平均は12月25日に1010円安と大幅に急落。27日は750円高と急騰。上昇幅は約2年ぶりの大きさだ。米ダウ平均は24日に653ドル安と大幅に急落。26日には1086ドル高と過去最大の上昇幅を記録した。

12月に入ってからの日々の変動率はリーマン・ショック直前の08年8月を上回る。金融危機でもないのに株価変動がこれだけ激しいのは、一定の条件に沿って自動で売買をするプログラム自動取引の増加が影響している。最近ではニュースリリースなどの文などから「キーワード」を自動的に読み取って売買する「テキストマイニング」と呼ばれるタイプが増加。トランプ大統領がツイッターにアップした内容やパウエルFRB議長の会見中の発言にプログラム取引が反応する。

外為市場でも変動が激しい。2019年初めの外国為替市場は円に対するドルやユーロの「フラッシュ・クラッシュ(瞬時の急落)」で始まった。日本時間3日早朝に円相場は一時1ドル=104円を試し、2日のニューヨーク市場の17時時点で付けていた108円台後半から4円超も急伸。参加者が極端に細るこの時期、投機



株価変動が世界的に激しい。日経平均は12月25日に1010円安と大幅に急落。27日

筋が損失覚悟の注文の行使を狙う「ロスカットハンティング」に動いたのだ。また、米国市場では相場底入れの兆しが見え始めている。新興国市場や半導体や資本財関連など米景気敏感株が回復し、長期のトレンド

を占ううえで注目される200週移動平均が切り上がりつつある。

テクニカル指標の相次ぐ改善も見え始めている。1月7日の取引終了時点で、10日間の騰落株の比率や上昇銘柄の出来高などから算出する「ツバイクのモメンタム指標」が2012年以降で初めて点減した。62年以降で指標が点減したのは25回。そのうち8割強は1年後にS&P指数が平均18.4%上昇している。谷が深かった分、買い直しが膨らむ可能性もある。

また、ドル円も転機を迎えている。47週ごとに安値を付けるサイクルが確認されており、1月は重要な転換点となる。104円が安値なら今年は1ドル=115円~120円を目指す。円安に向かえば日本の株は上昇する。2019年5月から新年号となる。株式市場も新たな強気相場元年となる予感がする。

潮流銘柄はホロン(7748)、TDS E(7046)、キャンバス(4575)。



岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは15.5%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

ドル円も重要な転換点

星野三太郎の株街往来

～乱高下の根本的問題～

昨年
末の3連休中に続き、正月休みも3日にニューヨーク市場が大暴落となり、大発会からいきなり暴落スタートとなる大波乱。その深夜時間帯には雇用統計の内容を好感してダウは一転して746ドル超の大幅高になった。

暴落のキツカケとなったアップルの下方修正はそもそも高額過ぎるiPhoneがユーザーニーズに合わなかったことが要因であり、一企業の経営戦略ミスだけで世界の主要マーケットが下落するのは過剰反応。その後の急反転の材料となった雇用統計も、今後は政府機関長期閉鎖の影響が顕在化すれば、米国内の景気減速要因として売り材料にされるかも知れない。良くも悪くも、この数年はひとつの材料にマーケットが過剰反応、それに振り回されて嫌気がさした個人投資家が増えるのが最大の懸念材料だ。

個人投資家が株式投資から撤退すれば、CTAなどの自動売買で先物や為替を通じた乱高下が、より世界のマーケットで幅を利かすことになる。先頃、東証が現在四つある株式市場を三つに集約する方向で検討に入ったことが報じられた。その前に乱高下の根本的問題を論議するほうが先決だと思う。



New product

個性あふれる「梅味」

人気6ブランドを期間限定販売



かっぱえびせん 紀州の梅

カルビー(2229)は梅の開花時期に合わせて6つの人気ブランドから「梅味」の新商品「かっぱえびせん 紀州の梅」「ポテトチップスギザギザ 梅と焼きのり味」「堅あげポテト梅味」「じゃがりこ梅え味」「Jagabee 紀州の梅味」「ポテトチップスクリップ 梅しお味」を1月7日以降、期間限定で順次発売している。

同社では、毎年、梅の開花時期(1~2月)にかけて、春の訪れを感じられる梅味の新商品を発売している。今年は、「ポテトチップスクリップ」も加わり、過去最多の6ブランドでの発売となる。異なる風味と食感で、好みの梅味を選べる楽しさを提供していく。

「脳の若さを保つ生き方」

大和ハウス工業

第5回生活文化フォーラム開催へ



脳の若さを保つ生き方

大和ハウス工業(1925)は、5月25日に大和ハウス生活文化フォーラムを東京本社2階大ホールで開催する。同社は今の日本人のあるべき姿と今後の指針について多彩なパネリストに語り切ってもらおう。

「石橋信夫記念館文化フォーラム」を2008年から毎年開催。2014年からは、第2弾のフォーラムとして、日本人の「暮らし」をテーマとした「生活文化フォーラム」を開催している。5回目となる今回は、「脳の若さを保つ生き方」をテーマに取り上げる。超高齢社会を迎えた今、より健康で心豊かな暮らしを送るために、日々の生活で心掛けることなどについて、各界で活躍するパネリストに意見交換をしてもらう。

申し込みは同社の応募ページ(<https://www.daiwahouse.co.jp/forum/seikatsu/>)で。申込締切日は4月5日。

企業レター



敏腕先物ディーラー
ハチロクの裏話

英国議会決議に注目

戻り入ったところはコール売り

今年の大発会
は一時700円
安と波乱の幕開
けとなった。年
明け発表された
アップルの業績下方修正を
受け、為替も一時104円
台に入った事も影響してい
たが、正月ボケを覚まされ
る動きとなった。先週には
米中貿易問題の歩み寄りも
期待され、相場は上昇に転
じたが、今週は英国のEU
離脱問題で振られる相場
となりそうである。

は否決されるとみているが、
EUとの合意なき離脱は金
融界をはじめ世界経済を混
乱を招くだけに避けてもら
いたいものである。否決さ
れた場合は3日以内に代替
案を提出させるとのこと
であるが、今度はEU側が譲
歩するとも思われず、不透
明感の強まるだろう。メイ
首相の発言は相場に大きく
影響しそうである。

日経平均のチャートの
は12月25日の安値(1
万8948円58銭)を底
に戻りを試す展開となつて
いる。昨年10月2日の高
値(2万4448円)から
10月26日の安値(2万
971円)の戻りは、下げ
幅の46%戻しの2万25
83円であった。今回もそ
の戻り幅と仮定すると2万
700円処である。この水
準は一目均衡表の基準線と
も重なり、さらに12月3
日の戻り高値から25日の
安値の下落幅の半値戻り
(2万838円)も位置す
る為、上値を試す上で重要

な抵抗ラインとなつて
こよう。
抜けてくると節目で
ある2万1000円を
目指すと思われるが、
10月2日を起点とす
る大きな上値抵抗ラインが
今週は2万1500円程度
に位置し、このラインを抜
けてくるのは難しいと思わ
れる。一方、下値は5日線
や節目の2万円が強く意識
されよう。今回の上昇時に
1万9692円58銭と1
万9701円76銭の窓を
開けており、海外要因で下
落した時はその値が意識さ
れよう。この水準は転換線
(1万9721円処)とも
重なる為、重要な下値支持
ラインである。抜ければ2
番底探りの展開
となる。

M A C D や ス
トキヤステイク
スを見るとまだ
若干上昇は続き
そうであるが、
相場は右肩下が
りの三角持ち合
いを形成する可
能性があり、今
週戻りが入った
ところはコール
売りに回りたい
(ハチロク)

今週のスケジュール

- ・ 11日 米12月消費者物価指数
- ・ 15日 12月マネーストック
米12月生産者物価
米1月NY連銀製造業景況指数
- ・ 16日 11月機械受注/12月国内企業物
価指数
11月第三次産業活動指数
米12月小売売上高/米12月輸出
入物価
- ・ 17日 米12月住宅着工件数
- ・ 18日 12月消費者物価
米12月鉱工業生産・設備稼働率

編集後記

今年も9日から11日に
かけ「十日戎」が開催され
た。「漁業神」「五穀豊穡の
神」「福の神」として信仰
されるえびす様に商売繁盛
を祈願する祭り、特に関
西では正月以上の盛り上が
りを見せる。筆者も実家が
商売をしているわけではな
いが、毎年家族で今宮戎に
参拝し、福笹を買い、てつ
ちりを食べて帰るのが年中
で一番の贅沢だった。
東京市場はえべっさんの
ご加護か、波乱の大発会か
ら順調な戻りを見せた。た
だ、買い戻し主体で足元は
おぼつかず、連休明けから
が正念場になりそうだ。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。